

1年 地域産業研究実習 10月14日～16日

6面参照

・ 働き場を体験しながら、地域の産業や社会が抱える課題とその解決策を探ります

終了御礼

地域・卒業生・保護者の皆様、ありがとうございました！



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第100号

2年 東京研修旅行 10月12日～15日

・ 課題研究を深めます 11/7(土)の雲南市教育フェスタで成果を発表します

三高生

YOUは何しに東京へ？ (東京研修の意義)

本校の「産業社会と人間」や2年次以降の「課題研究」では地域の現状や課題に目を向け、それを解決していくためにどうすればよいかを考えます。「地域課題」について考える時、それは日本や世界の課題を考えることに通じているという視点も忘れてはなりません。「ローカル」な視点と「グローバル」な視点、どこかでつながる様々な視点・視線から物事を見る大切さを実感します。

3日目：班別自主研修の訪問先(全49班の一部)
アポイント(訪問申請交渉)も生徒が行いました

班	午前の研修先	午後の研修先
101	厚生労働省	法政大学
104	織田きもの専門学校	江戸風鈴・篠原風鈴本舗
108	鉄道博物館	東京都立中央図書館
109	東京工業大学大学院	目黒区総合庁舎
201	JAXA	経済産業省資源エネルギー庁
206	東京証券取引所	ソニー銀行株式会社
208	東京医科歯科大学	日本赤十字社医療センター
210	小岩井乳業	千代田区役所
302	丸の内タニタ食堂	服部栄養専門学校
304	文化庁	スターツ出版
305	カタリバ	杉並区産業振興センター
306	東京こども専門学校	南青山保育園
401	厚生労働省	スローライフジャパン
402	キョーマンビジネスサービス(株)	食品需給研究センター
404	クールジャパン機構	東京工芸大学
410	東京女子医科大学病院	国立感染症研究所
501	環境省	エコ・パワー
515	文部科学省	三育小学校
510	国立国際医療研究センター	日本臓器移植ネットワーク
511	博報堂	にほんばし島根館

仲間とアクティブに



東京研修2日目は、6大学に分かれてのアカデミックインターンシップ。写真は日本工業大学で。

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

11月14(土) 第2回オープンキャンパス



午後

詳細は中学校を通じてご案内します

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

「誰ひとり間違っている人はいない」と周田に耳を傾けた高校生

先月は安保法制をめぐる騒然とした情勢が続き、4年半が経った東日本大震災からの復興に関する報道は乏しかった。震災に関する記憶や意識が薄れつつあるのではないかとモヤモヤした嫌悪感を抱きつつ、半年前のことを思い出した。「あの大川小学校のことか」と思い出していた。けるだろうか。74名の児童と教職員10名が死亡・行方不明となった石巻市立大川小学校のことだ。話題の主は、同小を卒業した高校生たち。震災当時6年生だった児童も高校生となり、大川小学校を卒業した3名の女子高校生が、仙台市で開催された「世界防災ジュニア会議」で校舎の保存を訴えたのが今年の3月のことだった。「友情を育んだ思い出の場所」であり、「一目で津波の恐ろしさが分かる」と保存の意義を強調した。しかし、校舎保存の是非を問う数日後の住民集会で、彼女たちは保存に反対する大人の悲痛な声を聞くこととなった。校舎の保存に関する様々な声に対し、「誰ひとり間違っている人はいない」と周田の声を傾けた上で、「残したい」と言う考えは、わがままなのかもしれません。残したくないという人たちの気持ちも、今では十分にわかります。「それでも私たちが出来ることは語り継ぐこと。こんなことが二度と起こらない為に校舎保存を訴えていきたい」と語りかけた。急遽発言を求めた高校生の勇気ある声に、保存反対派の大人たちも涙を浮かべながら温かい拍手を送った。一方、国の根幹に係る法案が一文も修正されることなく可決された先月の状況は、18歳からの投票権を目前にした高校生にとって、どのようなに映っただろうか。法案の是非は別として、高校生を含めた国民が、主権者意識を高めたことだけは確かではないだろうか。「誰ひとり間違っている人はいない」と、異なる意見にも寄り添い歩もうとした高校生に、明日の日本の進路を託す一票を期待する。

(編集長記)

戦後70年 三高生が考える戦争と平和と人権

今号の記事は 月 日分までです

演劇

島根県高文連演劇大会 出雲・石見地区予選 第一関門突破

『TAKASHI』県大会出場へ

脚本:亀尾佳宏(掛合分校教諭)

9/19

11/3



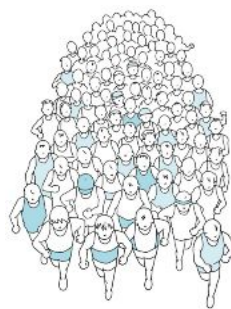
文化祭での朗読劇とは演出が異なります



体育ロード走

全校生が3km x 5回

三高スポーツの秋は「ロード走」から



以前は男女ともに15kmほどのロードレース大会が行われていたが、道路事情によって度々コース変更が余儀なくされる中、平成14年度からの学校5日制の完全実施で学校行事の精選が迫られ、思い出深い行事が消えた。

目標は中国大会出場!
県大会は11月2日・3日
会場 加茂文化ホール
三刀屋高校出演日時
11月3日(火・祝)
9時40分~10時40分
入場無料!ぜひご覧ください

5年ぶりの女子生徒会長に期待

後期生徒会長と議長との選挙には各1名が立候補し、9月の信任投票の結果、生徒会長には景山美鈴さん(2年)、議長には周藤蘭さん(2年)が圧倒的多数の信任票を得て当選を果たした。
新生徒会長の景山さんは「女子生徒会長ということでは不安に思う人がいるかもしれませんが、前期の3年生の執行部の皆さんを本手に頑張ります。」と立候補演説で語ったが、今や「女子だから心配」という生徒はいないはずだ。女子生徒が多い本校で、女子生徒会長が5年ぶりというのが意外だ。やる気をもって立候補してくれた景山さんを中心に、後期の生徒会の活躍を期待したい。

陸上

(9/20、21、益田市陸上競技場)

県高校新人陸上

【男子】予選通過者
2年100m予選
山田 幹 11秒94 通過
2年100m準決勝
山田 幹 11秒90

800m予選
松原瑠星 2分6秒70 通過
須山泰成 2分9秒28 通過
800m準決勝
松原瑠星 2分10秒65
須山泰成 2分14秒22
1500m予選
須山泰成 4分23秒27 通過

1500m決勝
須山泰成 4分36秒62
【女子】予選通過者
1年100m予選
小豆澤真帆 13秒26 通過
1年100m準決勝
小豆澤真帆 13秒47 通過
1年100m決勝
小豆澤真帆 13秒63 8位

男子10傑(参考記録)	
1位	松原瑠星 10分38秒
2位	須山泰成 10分40秒
3位	大森雄介 10分44秒
4位	難波康人 10分59秒
5位	藤原一樹 11分06秒
6位	石飛公基 11分23秒
7位	林 貫太 11分32秒
8位	高橋謙慎 11分34秒
9位	吉田遼介 11分36秒
10位	永井宏樹 11分41秒
次点	田本彪流 11分43秒

赤信号でのタイムロスあり

女子10傑(参考記録)	
1位	周藤奈乃璃 13分27秒
2位	山根 七海 14分04秒
3位	松尾 美祐 14分07秒
4位	山崎アリサ 14分11秒
5位	渡部ほのか 14分15秒
6位	青木真衣子 14分30秒
7位	永見日奈子 14分31秒
8位	板倉 知香 14分33秒
9位	小林 大子 14分36秒
同	福場 未唯 14分36秒
次点	山本 早季 14分38秒

現在は、学園祭後の9月から10月にかけて、体育の授業で全学年が三刀屋川の両岸を

中心に約3kmのコースを5回走っている。今年も、一緒に走る校長の姿が度々目撃され

た(校長は今も好調です。今年のベストタイム14分47秒)。

戦後70年 三高生が考える戦争と平和と人権

第25回永井隆平和賞

前号で既報の通り、今年で25回目を迎えた永井隆平和賞の発表式典が9月13日、三刀屋文化体育館アスパルで開催され、本校の内藤舞さんが高校生の部で佳作に入りました(当日は所属する女子ソフトボール部の大会(県高校選手権優勝)と重なって表彰式は欠席)。

〔高校生の部〕

佳作 内藤舞(2年)

「永井隆の夢見た未来」

永井隆博士の考える「平和」とはどのようなものだったのだろうか。戦争のない世界、人々が笑って生きることのできる世界。病と戦いながら、数多くの作品を残した博士はどんな未来を夢見ていたのだろうか。

今年、日本は終戦七〇周年を迎える。毎年八月になると沢山の戦争に関わるドラマや映画が放送される。私が初めて戦争について知ったのは小学生の時だ。自分の住んでいる国でこんな事が起こっていたのかと衝撃を受けたことを今でも覚えている。初めて小学校の図書室で「はだしのゲン」を読んだ時は、本当に恐ろしかった。今まで戦争について沢山話を聞いて、見て、学んできた。それでも、私

の心の隅には「昔のこと」という考えがあり、遠い昔の話で、自分には関係のないことだと思っていたのだ。しかし、そんな中で集団的自衛権が可決され、日本がまた戦争に巻き込まれる可能性がでてきた。やつと私の中の戦争は昔のことという概念が消え始めた。

私が祖母に戦時中の話を聞いたのはごく最近のこと。高校二年生になってからだ。そこで初めて祖母に七人兄弟がいたことを知った。それまで私はずっと祖母は四人兄弟だと思っていた。話を聞くと、三人とも小さい頃に栄養失調が原因の病で亡くなったと分かり、今の自分がとても幸せなことに改めて気付かされた。私が小さい頃、嫌いな食べ物を残したりすると「ちゃんと食べなさい。食べたくても食べれん人もあるんだよ。」とよく祖母に叱られた。私は祖母からこの話を聞くまでは、祖母はアフリカなど発展途上国の子供達

のことをいつているのだと勘違いしていた。祖母のいう「食べたくても食べられない人」はきつと戦時中の自分達と重ねていたのだと気付いた。祖母は幼い私にそういう度に、辛かった過去、亡くなった兄弟のことを思い出していたのだらうか。そう考えると胸が押しつぶされそうになる。

もう一つ祖母の話を聞いている中で、祖母の母の兄弟、私の曾祖母にあたる人の兄弟が硫黄島で戦死していたことを知った。私はこの時初めて自分の先祖が戦争によって命を奪われていたことを知り、今まで遠く感じていた戦争がとてもし身近に感じ怖くなった。私は何度か硫黄島での悲劇を描いた「硫黄島からの手紙」という映画をみたことがある。私が覚えている中で、この映画は私が初めて見た、戦争を題材とした映画だった。初めてこの映画をみた時は本当に怖くて、何度か耳を塞いだ。私の母も祖母もこの映画を見たくないという。今でもテレビでこの映画が放送されていると、すぐにチャンネルを変えてしまう。「何で変えるの?」と聞くと「怖い」といつていた。

戦後七〇年経っても戦争を体験した人が戦争を忘れることは出来ない。一人一人の心の中に辛かった記憶が残っている。その人達にとって戦争はすぐ近くにあるのだ。戦争が終わわり、どれだけの人が喜び、亡くなった家族、友達のことをどれほど悔やんだらう。日本は唯一、原爆の被害を受けた国として、戦争をしない国としてあるべきだと私は思う。これだけ多くの人々に深い傷を残した戦争をなぜくり返そうとするのだらう。深い傷をおつた人々になぜまた同じ思いをさせるのか私には分からない。永井隆博士も戦争をくり返す事はあつてはならないと願っているはずだ。永井隆博士の考える平和、そして戦争により命を奪われた人、家族を失つた人の考える平和は、人々が食べ物に困ることもなく、戦争におびえて暮らすことのない世の中だと思う。永井隆博士の夢見た未来に戦争、貧困はないはずだ。その為にも私たちは戦争という負の過去を、人間の犯した罪を忘れてはいけない。

戦争は「昔の話」ではなく世界中で今この瞬間も起きていて、多くの人がおびえ、命が危険にさらされていることを忘れてはいけない。博士の夢見た世界が実現されることを私は願っている。



放送 掛合町ふるさとまつり取材
今月18日(日)に掛合中学校グラウンドで開催された「第33回掛合町ふるさとまつり」を放送部員が取材した。今後、撮影した映像を編集し、秋の高文連コンクールに出品する番組を製作するとのことだ。

卓球 (9/19、20、浜山公園)
ソフトテニス (9/18、19、県立体育館)
県高校選手権
新人戦の前哨戦的な個人戦のみの大会だが、両部ともに本校では高校入学後にプレー

を始める部員が多く、この時期の大会では上位進出者がない苦しい展開となった。伸び代が大きい分だけ、今後に期待したい。

広告

ご存知ですか?

大阪学生会館



大阪府及びその周辺に所在する大学等に在学又は進学する島根県出身の優秀な学生のために、学生会館を設置・運営して修学の便を図ることにより、社会的に有為な人材の養成に寄与することを目的に、平成15年3月、大阪府吹田市に「大阪学生会館」が誕生しました(首都圏にはありません)。

- 鉄筋コンクリート3階建 面化粧台・パソコン対応電話回線)。
- 全館冷暖房完備 各階男女別に談話室・調理コーナー・
- 1階に食堂・学習室・浴室等 コイン式シャワー室・洗濯室・ウォシュ
- 2・3階に寮生個室70室(洋間6畳、レットトイレ等。
- 机・椅子・ベッド・クローゼット・洗 詳細は島根県育英会HP参照

島根県育英会

三高文化の秋

第45回記念山陰独立書展

書道

山陰独立賞に

長羅先生

「臨草書詩巻」



第45回山陰独立書展(県独立書人団主催、島根県教育委員会等後援)が9月25日から松江市袖師町の県立美術館ギャラリーで開催され、書道の授業と書道部の指導をお願いしている非常勤講師長羅典子先生の「臨草書詩巻」が最高賞の山陰独立賞に輝いた。縦

神話の息吹…雲南の郷

華道



池物 学校華道コーナー(アスパルロビー)

第54回華道家元池坊島根県連合支部花展

10月18日(日)、19日(月)の両日、三刀屋文化体育館アスパルを会場に標記花展が開催された。会場入り口のロビーには、華道部で活動する高校生の作品展示コーナーも設けられ好評を得た。



上田千浩(2年)

高野寛子(2年)

第69回二紀展2015

快挙!

二紀展は、1947年に「美術の第二の紀元を画する」の意図のもと「第二紀会」が創立され、その後、会の発展とともに名称を「二紀会」と改め活動する全国公募展です。

美術

3m、横7mの大作(写真右)で、紙に食い込んだ線の深みや余白の使い方などが高い評価を受けた。島根県独立書人団は昭和34年に山陰抱雲会として創設さ

師弟ダブル入選

彫刻の部 入選

森脇 咲子(3年) 初入選

周藤 豊治(教諭) 会員推奨

期日 10/14~16

会場 国立新美術館(東京都港区六本木)
巡回展 全国6か所
広島 平成28年2月2日~7日
広島県立美術館(広島市中区)



『月光船』森脇咲子



『Watcher』周藤豊治(準会員)

森脇さん彫刻作品(鉄)について:制作は2回目の取り組み。1作目が第16回高校生国際美術展で佳作に選ばれ、7月には浜田こども美術館で開催された現代彫刻小品展にも出品した。彫刻作家からも好評を得たことから、2作目を制作して今回の二紀展への出品となった。森脇さんの作品の良さは、端材を選ぶセンスと溶接の火花も隠せず取り組めるおもいきりの良さ、情熱があること。普段から油絵、デッサンに熱心に取組み、そこで得た構成力、デッサン力が生かされている。枠にとらわれずに自己表現を追求して欲しい。【美術部顧問】



国立新美術館

何という事でしょう

二紀展会場の国立新美術館(東京都港区六本木)の設計を担当したのが、本紙前号で紹介したOBの竹部友久氏(昭和60年本校卒 早稲田大学理工学部(株)日本設計)。今月13日から業務運用が始まった雲南市新庁舎の環境・設備設計も担当された方だ。

2年生東京研修初日の恒例プログラム、イブニングセミナーでは竹部氏に「仕事と建築と雲南市」と題して講話をいただいた。高校2年次に国体少年男子バスケットボール島根県選抜チーム入りした実力を支えたのは、県総体優勝をめざした厳しい練習だった。下は、竹部氏がセミナーで使用したパワーポイント画像の一部。

- ✓練習が非常にきつかった思い出
→高校卒業以降、肉体的、精神的にこれ以上きつと思ったことがない(耐えられる)
- ✓3年間部活動を続けて本当に良かったと思う

れ、現在では山陰地方最大の書道研究集団として地域文化の発展向上に尽くしている。会員には、高校で授業や書道部の指導にあたる先生方も多い。

講師紹介

今学期の初めより、英語科の日比野未彩教諭と国語科の保科綾香教諭の二人が産前・育児休暇に入り(ともに無事出産)、代わって英語科は佐々岡講師、国語科は品川講師が着任し、授業と校務を引き継いでいます。佐々岡講師は女子バスケットボール部、品川講師は文芸部の顧問も担当します。



島根県東部の全各市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心

三高新時代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校
(平成25~27年度、県教委指定)

シリーズ

地域とともに

第14回

1

1年「地域産業研究」実習

三刀屋高校総合学科でのキャリア教育は10年間の試行錯誤を重ねつつ、実際に生活する地域・現場との関係を生徒に意識させるプログラムを構築・展開してきました。昨年度からは目指す生徒像として「社会に役立つ」とする意欲を持つ生徒を加え、地域貢献に一層意欲的な生徒の育成を目指しています。

(事業所インターンシップ)

全54事業所に分かれて3日間の職場体験

地域の皆様に御礼申し上げます



2年生の東京研修と時期を同じくして、1年生は「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)を10月14日から

錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ



天神さんで見かける牛の像
姿を消しつつある牛馬安全守護のお札

昔はその辺りの大抵の農家が牛を飼っていた。機械のない時

斐伊川今昔物語 第15回 たたら&牛と天神信仰

代は、肉牛というよりは耕作用の役牛として農家にとっては貴重な存在だった。雪深い地域では寒さをしのぐための母屋の土間続きに牛が生活し、金肥が普及する以前は、牛馬の糞尿(鳥屋肥)が田畑の大切な肥料になった。
役牛として大切にされたのは大正末まで続いたたたら製鉄

乳牛以外に、肉牛専用として飼育されるようになったのは比較的最近の時代で、牛肉を普通に口にできるようになったのは少なくとも高度経済成長以後のことだ。奥出雲と島根の畜産界にも信仰したのが鉄の神様を祀る「金屋子神社」。雲南市内でも各所に見られるが、本社は安来市広瀬町西比田に鎮座する。

の世界でも同様だ。斐伊川やその支流での船運については本シリーズでも紹介したが、鉄の船積み以前の段階では、雲南地方のたたら場周辺では大量の牛馬を必要とした。そうした牛を大切にする生活が、天神信仰と結びついたことを存じだろつか。三刀屋天満宮にも祀られる菅原道真(公倉公)は牛を大切に、牛に命を助けられることもあり、遺言によって亡骸を引いた牛車動かなくなった所に埋葬

ら3日間実施しました。進路志望に沿った関連する事業所に分かれて数人ずつが現場での実習を経験するものです。地元雲南市を中心に奥出雲町や出雲市、松江市を含む全54事業所(学校、福祉施設等を含む)のご協力を得て実施しました。
前週の雲南市内7中学校3年生の職場体験学習(夢発見ウィーク、市内178事業所の協力)に続く三高生の実習は、中学校時代と同じ職場体験の繰り返しならぬよう、事前の調べ学習をもとに課題意識を持って実習に臨み、進路目標に沿った「地域産業研究」を深めることを目的としています。
いずれにしても、小学校から



9月の三瓶宿泊研修でのグループ討論

2 「自分をつくる楽校」

学習がどう将来に繋がるのか考える
将来の選択肢はたくさんある
将来なりたい自分を探す

ら高校までのキャリア教育は、地域の皆様のご理解とご協力があつてはじめて実現が可能

となるものです。改めて厚く御礼申し上げます。

9月は大田市の三瓶青年交流の家での1泊2日の宿泊研修。高校の部には本校からは2年生の2人が参加し、「自分の将来についてじっくり考えることができました。みんなの前で自分の考えを話す機会は普段あまりなく、新鮮で楽しかったです。」と感想を述べてくれました。
10月17日には、運用が始まったばかりの雲南市新庁舎(木次町里方)を会場に、三刀屋高校と大東高校の1、2年生の希望者22名が参加し、ALAREと地元社会人の皆さん11名を含めたグループ討論を通して自分の今と将来をみつめました。

11月7日、8日にラメル(加茂町)で開催される雲南市教育フェスタでは、初日に参加者の代表が半年間の活動を振り返る発表を予定しています。



平成28年度全国高等学校総合体育大会

美し咲け君の笑顔と努力の華

2016 情熱疾走 中国総体

開催期間：2016年 7月28日(木)～8月20日(土)

開催まで、あと **279** 日

※サッカー(男子)は7月26日(火)～8月2日(火)

木次駅前で大大会のPR活動を行いました

木次駅



大会成功の第一のキギは「知ってもらおう」「関心を持ってもらう」こと?!

9月18日(金)の朝、JR木次駅前では来年夏のインターハイ開催をPRする雲南地区の「高校生活動」を行いました。この日は、新生徒会長に当選したばかりの景山美鈴さんを中心に、執行部入りが予定される2年生が、乗降客に開催を告知するPR活動を行いました。

大会成功のためには「ホスピタリティ」を大切に
大会に出場する選手はもちろん、企画・準備・運営で関わる高校生の一人ひとりが目標に向かって粘り強く取り組み、それぞれの場面で「高校生が輝く」大会を目指す。
ところで、東京オリンピックの誘致プレゼンで国際的に有名となった言葉が「おもてなし」。今日のイベント成功の大きなキギは、迎える側の「ホスピタリティ」(おもてなしの心)にあると言われる。その徹底したホスピタリティで成功した場所が、2年生東京研修に組み込まれる東京デイズランドだ(そんな目で見ると、デイズランドは奥が深い)。来年のインターハイでも、ホスピタリティある仕掛けで参加者を温かく迎え、また来たいと思わせる、そんな知恵と工夫を皆で考え楽しむことは、本校の課題研究や地域作りの姿勢にも通じる。生徒一人ひとりが輝く全国大会になればと期待する。

最優秀作品評 水面近くの極めて低いアングルから狙った構図が新鮮で、オールを中心とした強い遠近が画面のスピード感と緊迫した空気を獲得している。漕ぎ手、光、水しぶきの表現も巧みで、観る者に臨場感をもたらしてくれる秀作である。
(選考委員長)

来年夏、尾原ダム(さくらおろち湖)で全国高校総体ボート競技を開催します

平成28年7月28日(木)～8月1日(月)

来年の全国高校総体(インターハイ)は岡山県をメイン会場に中国五県で開催されます。島根県開催競技は以下の通りです。

		主会場	期日
ボート		さくらおろち湖	7/28～8/1
体操	体操競技	島根県立体育館(浜田市)	8/2～5
	新体操	松江市新体育館(仮称)	8/9～11
柔道		島根県立浜山体育館	7/30～8/3
テニス		松江市営庭球場	8/1～8



パソコン作成のデジタル作品

注目!

ボート競技ポスター図案が決定しました

最優秀賞 高野寛子(2年)

平成28年度全国高等学校総合体育大会

標記ポスター図案の選考会が今月8日に開催され、最優秀賞には美術部2年の高野寛子さんの作品が選ばれた。来年夏に開催されるボート競技のポスターとなって、大会PRにも使用される。表彰式は来月に予定されている。
なお、本校からは以下の4名の皆さんも入選を果たした。
入選(本校分)
神庭 志帆(2年)
門脇 宥紀菜(2年)
小畑 舞佑子(2年)
金築 由依(2年)

11月中旬から旧暦の神在月です

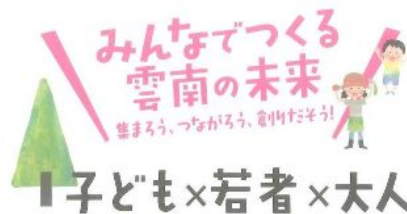
日	曜	学校行事等	部活等
1	日	「しまね教育の日」	演劇 書道 剣道 柔道 バスケットボール ソフトテニス
2	月		演劇
3	火	文化の日 3年大学別オープン模試	演劇
4	水	雲南地区高体連体育大会 第2回中高連絡会	
5	木	1・2年進研学テ	
6	金	1・2年進研学テ 漢字検定	文芸
7	土	出校日(月曜日の授業) 1年「授業大学」 雲南市教育フェスタ(地域で つなぐキャリア教育事業) 2年うんなん『宝』発見成果 発表会 3年進研M模試	
8	日	3年進研M模試	
9	月	11/7の代休日	
10	火	人権・同和教育LHR 7限授業	
11	水	S・C来校日	
12	木		
13	金		自然科学 卓球 バレーボール ソフトボール
14	土	出校日(6限、月曜日の授業) 第2回オープンキャンパス 3年プレM模試	自然科学 卓球 バレーボール ソフトボール
15	日	3年プレM模試	バレーボール ソフトボール
16	月	11/14の代休日 PTAキャンパス・ツアー(岡山)	
17	火	アカデミック・インターンシップ (2年、島根大・県立大)	
18	水	ロード走補充	
19	木	試験発表 ロード走補充	
20	金	1年生保護者進路ガイダンス ロード走補充 閉寮	
21	土	学校開放	
22	日		
23	月	勤労感謝の日 閉寮	
24	火		
25	水	(月曜日の授業)	
26	木	期末試験1日目	
27	金	期末試験2日目	
28	土	高P連合同研修会(出雲)	
29	日		
30	月	期末試験3日目	

島根を愛しふるさとに誇りを持つ子どもたち
を育むために
＜しまね教育の日を定める条例 第1条より＞

「しまね教育の日」関連行事(三高編)

平成14年に「しまね教育の日を定める条例」が制定され、11月1日を「しまね教育の日」、あわせて7日までを「しまね教育ウィーク」と定められました。本校ではその期間の前後、今年には以下のような取り組みを予定しております。

- 「雲南市教育フェスタ2015」
初日の11/7(土)午後 inラメール
2年生が東京研修を受けて
課題研究の中間発表
「自分をつくる楽校」取組発表



11月7日(土)8日(日)の両日は、雲南の子ども×若者×大人のチャレンジが連鎖して、さまざまな取り組みがコラボします。詳細は雲南市のホームページ等をご参照ください。

- 授業「大学」 対象：1年全クラス
11/7、島大生30名が来校します

総合学科の履修科目「産業社会と人間」の時間を使っての授業「大学」は、高校生が大学生とかかわることによって「高校生が進路について考えるきっかけ」を得て、「大学に関心を持ち、自分の卒業後に思いをはせる」ことを目的とする1年次恒例プログラムです。

- その他(しまね教育ウィークの期間を過ぎますが、11月の三高では行事予定表のとおり、多彩な取組を予定しています)

人権同和教育LHR 11/10
PTAキャンパスツアー 11/16
アカデミック・インターンシップ 11/17
1年生保護者進路ガイダンス 11/20



お知らせ 三高の調べをお楽しみください!

箏曲 第14回島根県高文連
日本音楽部門コンクール

10/30(金) in ビッグハート出雲
開演13時 入場無料

箏曲 14:00 第36回

吹奏楽 15:15 みとやっこまつり

10/25(日) in 三刀屋文化体育館
アスパル

このほかにも、秋は雲南市内の各種イベント・施設で三高サウンドをお楽しみいただきます。



さんこう 三高91年物語

『蒼雲』100号記念

第17回 お久しぶりです！飯塚先生

旧制三刀屋中学校1期卒 第12代校長

昭和31年 教育目標制定 昭和35年 新校歌制定



20年前の飯塚先生の書です



飯塚 一雄 先生
旧制三刀屋中学1期卒
(9月25日 校長室で)

昭和30年から7年間、本校初のOB校長を務められたのが飯塚一雄先生。1911年(明治44年)生まれで、百四歳の誕生日を迎えられた直後の先月25日、学校にお越しただいてお話しを聞いた。

昭和30年4月母校の第12代校長として赴任。戦後10年経ちながらも、いまだ戦前の旧制中学時代の空気が抜けきらないと感じ、1年後の昭和31年4月に教育目標を設定した。「自主的人格の確立」、「科学的実践人の育成」、「公的資質の涵養」を三本柱とし、旧制中学時代の質実剛健を加味した内容は以下の通りだ。文言の一部修正はあるものの、基本的には総合学科に移行した今も踏襲する教育目標だ。

前号で紹介したように、当時は男女共宿の高校寮は全国的に珍しく、新聞でも紹介された時代だったが、校歌はいまだ旧制中学時代の「我が雲南の健男児」と歌っていた。このため、島根県出身で無声映画時代の弁士として一世を風靡した徳川夢声氏を頼り、その紹介で著名な歌人土岐善麿氏に作詞を依頼、作曲は当時新進気鋭の石井欽氏(2011年逝去、元全日本合唱連盟理事長)に依頼し、創立35周年記念事業の一環として新校歌が誕生した。

昭和34年10月、学校創立35周年と新制高校発足10周年を祝う記念行事が5日間わたって続いた。飯塚校長は記念式典の式辞で本校の歴史を述べた後、来賓の田部長右衛門島根県知事に對して老朽校舎の全面改築をその場で陳情した。これに對し田部知事は直後の祝辞で「私の在任中に必ず実行する。」と述べ、出席者の万雷の拍手を浴びた。これがいわゆる「壇上陳情」で、後々まで語り継がれた。団塊世代の高校入学が迫ると、国も県もさまざまな対応が迫られるようになった。飯塚校長は国の海外派遣教員の第1号9名にも選ばれて視察に赴くなど、その活躍は多方面にわたり、後に、開校まもない松江南高校の第2代校長として赴任された。

お陰様で本紙も百号を迎えました。単なる通過点にすぎませんが、二百号を目指して、まずは百一十号発行を次の自治会回覧に間に合うよう頑張ります(今号は10月末の自治会回覧に間に合いませんでした)。

<http://三高情報.怒涛のドット.満載「蒼雲」>

「進路の手引き」を配布しました



今年度版の「進路の手引き」を配布済です。例年の「合格体験記」を合

保護者の皆様もお読みください

体して編集しました。百頁に及ぶ手引きは、生徒や保護者の皆様への貴重な進路情報です。
3年間の本校キャリア教育全体計画に基づいて、進路目標実現への道筋をご確認いただきたいと思います。

何という事でしょう 魅惑の三高教員

中学生の皆さん！、名前と顔が知りたければ、まずはオープンキャンパスへ！

理科	気象予報士の資格を持つ風呂敷王子(独身ではありません)
数学	国体少年男子ラグビー監督 噂の火消し役(現役消防団員)
英語	宍道湖一周駅伝35人ゴボウ抜きの伝説ランナー ゴボウ抜きのほか野菜作りが得意
理科	アーチェリー指導者
数学	勤務時間外は僧侶に変身する鉄人
地歴	勤務時間外は寝食を忘れる神職 僕イケメン編集長は元イクメン
理科	英語ペラペラ理科教員
地歴	謎のゴルフサーティーン？ ハンデは13以上のはず
体育	スキー1級 受験シーズンにスベル人
	高校時代のインターハイ出場者多数(バレーボール、柔道、バスケットボール、ソフトボール)
事務	(軽)トラック野郎は痛勤50キロ
体育	高校2~3年次の福山(プロ野球楽天イーグルス)を指導した監督

(管理職、非常勤講師を含みます)

